



交流拠点「かぐや」にアマビエ

長く続くコロナ禍。御宿中学校では御宿町が少しでも元気になるようにと、全校生徒がカラフルに彩ったアマビエを作成しました。

このアマビエは、交流サロン「かぐや」に展示されています。

関連記事 8

大きく変わる地域福祉

世界的に大きな状況の変化で、今までの地域福祉活動が制限された令和2年度は、これからの活動を考える1年となりました。

高齢者の多い御宿町で、新しい生活様式を元に、「安心して参加できる地域福祉活動」は、これからの課題です。 関連記事 P 2

新しい生活様式で 試される御宿の地域福祉力

新しい生活様式で 一変した人の繋がり方

新型コロナウイルスの影響で世界中で生活のあり方が一変しました。

千葉県では二回の緊急事態宣言を経て、なお感染に注意しながら、マスク、手指消毒、距離の維持など新しい生活様式での生活が続いています。

社会的にはテレワークや、オンライン会議、通信販売やデリバリーなど人との繋がりが大きく変わってきています。

また、人の移動が制限されて人との距離をとる事が必要となるなど観光業や飲食店など、今までとは違う対応が必要となる産業も多くなります。

新型コロナウイルス陽性者の状況は地域によって差があり、人口密度の高い都市部に比べ、御宿町では比較的陽性者の数が少ない状況ですが、重症化しやすい高齢者が多く注意の必要な地域でもあります。

町社協活動での対応

昨年一度目の緊急事態宣言前後から、御宿町での地域福祉活動や、人が多く集まるイベントを中止しました。

社協活動も、ふれあい会食会やほっとサロンなどの福祉活動を中止、指定管理受託により管理している地域福祉センターも一時休館となりました。

現在では、地域福祉センターは体温測定、手指消毒、定員の見直しなど対策をして開館となっています。

福祉活動も、感染対策をしながら職員によるさわやか配食や、見守り訪問事業を再開していますし、ほっとサロンについては、登録されている利用者及びボランティアにアンケート調査を行い今後の活動について検討中です。

また、生活福祉資金の窓口として、緊急小口資金(コロナ特例)や総合支援資金(コロナ特例)などの受付業務を実施。

問合せや申請の多かった一回目の緊急事態宣言後はゴールデンウィークも含め勤務態勢を変更しました。

御宿のボランティア活動

御宿町ボランティア連絡会によるアンケート調査の結果によると、令和二年十二月現在で約三分の一のグループは変わらず活動しており、約三分の一のグループが活動を中止していました。

主に、屋外で活動しているボランティアグループは感染対策をして活動を再開できていますが、人を集めるボランティアグループは活動が難しいようです。

また、福祉団体などのイベントがなくなったため活動ができなくなった芸能ボランティアのグループもありました。

今後の地域福祉活動

住民の皆さんの心身の健康を維持するためにも、つどいの場や軽スポーツの場の再開は必要となっています。

一律に人が集まることを中止するのではなく、感染リスクを

少なくして、安心して参加できる新しい活動へ変化させる時期です。

御宿町でも、一部のグループなどではすでに新しい生活様式での活動を開始していますが、社協活動としてもガイドラインを参考に、ふれあい会食会やほっとサロンなどの新しい活動形式を検討しています。



また、少人数で集まれる場所として地域の交流拠点の有効活用なども検討中です。

感染リスクの少ない活動となるために、老人クラブ連合会や身体障害者福祉会、ボランティア連絡会をはじめ地域の皆さんの意見を聞きながら、知識や技術の習得を目指した勉強会なども企画し、新しい活動方法の話し合いを実施して行く予定です。

生活福祉資金の

コロナ特例での対応

新型コロナウイルスの影響で、移動や会食などが制限されたことにより、収入が減少し、生活に支障がある方も多く、暮らしを繋げるために生活福祉資金での対応もありました。

従来は低所得者や高齢者、障害者を対象とした資金の貸付を行う生活福祉資金ですが、新型コロナウイルスの影響により収入が減少した方を対象に、緊急小口資金（コロナ特例）及び総合支援資金（コロナ特例）の貸付を実施しました。

新型コロナウイルスの影響が長引いたため、対応期間の延長もあり、令和三年六月末までの申請に対応しています。

御宿町では、問合せが集中した四月から五月は、分散勤務体制により、土日やゴールデンウィークでも相談できる

態勢をとりました。

長期化する影響のため、総合支援資金の再貸付などでは、自立相談支援センター「夷隅ひなた」との連携をするなど、新しい活動展開も開始しました。

御宿町での 貸付の状況

3月15日現在

- ・緊急小口資金（コロナ特例）
30件
- ・総合支援資金（コロナ特例）
9件



地域で安心して暮らすために 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業とは、日常生活を送るうえで、十分な判断ができない方や、身体の方がきかない方が地域で安心して生活できるように支援計画に基づいて生活支援員が定期的な訪問し必要に応じた福祉サービス利用援助や預貯金の出し入れ、支払代行をする福祉サービスです。



福祉サービス利用援助

福祉サービスを安心して利用できるようにお手伝いをします。

△例えば▽

●福祉サービスについての情報提供を受けられます。

●福祉サービスを利用したり、やめるために必要なことを一緒に考えながら手続きをします。

財産管理サービス

毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。

△例えば▽

●医療費、税金、公共料金を支払うお手伝いをします。

●あなたの通帳から生活に必要なお金を払い出してお渡しします。

また、預け入れすることもできます。

財産保全サービス

大切な書類や印鑑などをお預かりします。

△お預かりできるもの▽

●年金証書、預貯金通帳、不動産権利証書、契約書類

●実印、銀行印

●その他社会福祉協議会が適当と認めた書類

※財産保全サービスのみのご利用はできません。

また、宝石、骨董品、貴金属類、株券、有価証券などはお預かりできません。

お問い合わせは、町社協（☎六八一六七二五まで）

生活福祉資金コロナ特例貸付

暮らしを繋げる資金貸付

経験を生かした生きがい シルバー人材バンク

シルバー人材バンクとは高齢者のみなさんが、地域で生きがいを持って暮らせるように、身につけた技術や経験を使って地域に貢献できる御宿町独自の事業です。

シルバー人材バンクの活動

現在のシルバー人材バンク登録者は、三十人(男性二十五人、女性五人)です。

令和三年一月末までの作業件数は、三百五十九件で、定期的な依頼も増えてきています。

内容は草刈り、草取り、植木の手入れ、農作業、室内外清掃などが揃っています。

会員募集中です

作業依頼が増えてくるにつれ、作業を開始するまで待っていたり、場合やご希望に添えない場合も出てきました。

ご依頼に添えるよう、作業をしていただける会員を募集中です。

シルバー人材バンクを 利用してみませんか？

専門の業者に依頼するほどでもないけど自分ではできない作業、忙しくてなかなか手を付けられない作業などシルバー人材バンクに依頼してみませんか？
会員のみなさんは、今まで培ってきた技術や経験を生かし丁寧に作業されています。

こんな作業は可能なのか等、お気軽にお問い合わせ下さい。
シルバー人材バンクに関するお問い合わせは、
(☎六八一六七二五まで)

シルバー人材バンク 主な作業料金

- ・草刈り 1時間 1,200円
(機械持ち込み)
- ・草取り 1時間 950円
- ・植木の手入れ
1時間 1,200円
- ・清掃 1時間 1,200円

赤十字 御宿町分区の活動

御宿町で活動する御宿町赤十字奉仕団は地域赤十字奉仕団です。

この地域赤十字奉仕団は「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したい」という思いを持った人びとによって市区町村ごとに組織されたボランティアグループで、主に高齢者支援活動や児童の健全育成活動、災害救護・防災活動、赤十字のPR活動などを行っています。

御宿町赤十字奉仕団の活動

御宿町赤十字奉仕団は、委員長以下約四十名の奉仕団員が御宿町を主な範囲として災害救護・防災活動、赤十字のPR活動などを中心に活動しています。

令和二年度は、町や赤十字千葉県支部の活動が、中止、縮小される中、町赤十字奉仕団も実習などは中止しましたが、新しい生活様式での法人募金活動や状況把握や今後の活動を話し合う役員会などを開催しました。

赤十字奉仕団員募集

町赤十字奉仕団では、一緒に活動していただける奉仕団員を募集しています。

主な活動内容

- 炊き出し等の訓練
- 1日赤十字の開催
- 赤十字法人募金への協力

お申し込み、お問い合わせは事務局まで
御宿町赤十字奉仕団事務局
☎ 68-6725(社協内)

令和2年度赤十字社資募集

皆様にご協力いただきました、御宿町での令和2年の赤十字社資募集は一般社資910,515円

ご協力ありがとうございました。

ご協力いただきました募金は、赤十字活動に使用させていただきます。



新しい生活様式での ほっとサロン活動を模索

密を避けるため、人と人の距離を保つ、飛沫を避けるために大きな声や歌などを避けるなど、新しい生活様式では今まで行っていたほっとサロンの内容の多くは見直しをしなければ行えない状態です。

アンケート結果から

十月に行ったほっとサロン利用者及びほっとサロンボランティアを対象とした、アンケート調査によると、利用されている方の多くが再開を望まれています。ボランティアの皆さんは再開に向けての不安も見られました。

参加者が楽しみにしていると回答した項目に「体ほぐし体操」や「ゲーム」、「歌」や「参加者やボランティアとの会話」等があります。

感染対策をしながら、参加者が安心して楽しめる新しいほっとサロンのメニューづくりが必要となっています。



令和元年度のほっとサロンの様子

令和2年度

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい共同募金

本年度の赤い羽根共同募金は969,904円の実績を持って終了しました。

ご協力いただきました募金は千葉県共同募金会を通じ、約60%が御宿町の地域福祉活動に配分されます。

歳末たすけあい募金は672,348円のご協力をいただき下記に使用させていただきました。ご協力ありがとうございました。



令和2年度の歳末たすけあい運動

- ひとり暮らし高齢者への友愛訪問 288件
- 寝たきりの方への友愛訪問 5件
- 児童館でのクリスマス会 1件
- 低所得世帯への歳末配分 9件
- 歳末特別配食（さわやか配食にて） 36件
- ひとり暮らし又は高齢者のみの世帯への年末大掃除のお手伝い 9件
- 在宅介護支援 5件

赤十字法人募金

11月に、御宿町赤十字奉仕団の皆さんによる法人募金活動が実施されました。

毎年、一般社資募集とは別に町内の法人や商店などの皆様にご協力をいただくもので、フラハナ様では、マスコットの売り上げの一部などをフラハナフラガール募金として、ご協力いただくなど、総額308,304円のご協力をいただきました。

ありがとうございました。

令和元年度の社協活動状況

御宿町社会福祉協議会は、地域に根付いた福祉活動のため、御宿町の特色を生かした事業実施など柔軟に対応し、社協らしくより効果的な運営を目指しています。

資金収支決算 (法人全体)

事業活動による収支

収 入	45,795,125円
会費収入	1,075,101円
寄付金収入	61,745円
経常経費補助金収入	33,312,296円
受託金収入	2,279,100円
貸付事業収入	20,000円
事業収入	55,500円
介護保険事業収入	8,972,560円
受取利息配当収入	191円
その他の収入	18,632円
支 出	40,633,813円
人件費支出	33,006,488円
事業費支出	3,260,848円
事務費支出	3,389,277円
貸付事業支出	50,000円
助成金支出	818,000円
負担金支出	109,200円
事業活動収支差額	5,161,312円

施設整備等による収支

収 入	0円
支 出	0円
施設整備等収支差額	0円

その他の活動による収支

収 入	0円
支 出	2,017,350円
積立資産支出	363,750円
その他の支出	1,653,600円
その他の活動収支差額	△2,017,350円
当期資金収支差額	143,962円

事業の実施状況

心配ごと相談所	月2回
ふれあい会食会	年2回
さわやか配食	年10回
男の料理教室	年8回
ほっとサロン	月1回
地域福祉センター	延べ2,719人
介護予防訪問	延べ514人
シルバー人材バンク	558件
介護保険事業	
居宅介護支援	延べ926人

事業の利用状況

ふれあい会食会	延べ59人
さわやか配食	延べ376人
男の料理教室	延べ106人
ほっとサロン	延べ219人

ボランティア活動状況

さわやか配食	延べ128人
ほっとサロン	延べ120人
その他	延べ2,134人

貸付事業の実施状況

福祉資金	
(国保高額療養費の9割貸付)	
・貸付	0件 0円
・償還	0件 0円

善意銀行	
(最高60,000円までの小口貸付)	
・貸付	2件 50,000円
・償還	1件 20,000円

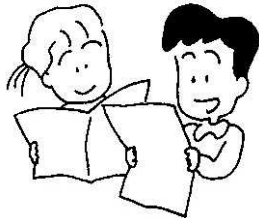
生活福祉資金貸付制度

町社会福祉協議会では、低所得者や高齢者、障害者を対象とした資金の貸し付けとともに、必要な援助指導を行うことにより安定した生活を送ることを目的とした、県社会福祉協議会の貸付制度「生活福祉資金」の窓口業務を行っています。

○貸付の種類

- ・総合支援資金 ・福祉資金
- ・不動産担保型生活資金
- ・教育資金 など

貸付に関するご相談は
地区民生委員又は
町社会福祉協議会
☎ 68-6725まで

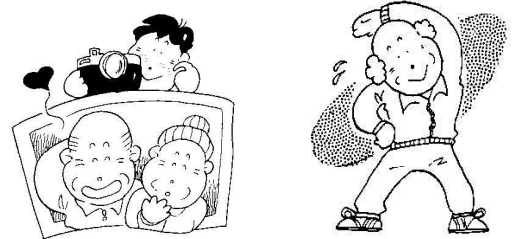


老人クラブ会員募集

会員や町内の高齢者の福祉のために活動している老人クラブですが、御宿町内には10の単位老人クラブが様々な活動をするとともに、町老人クラブ連合会主催の事業に参加しています。

老人クラブの主な行事

- 高齢者スポーツ大会
- 老人クラブ県外研修
- 高齢者囲碁将棋大会
- 高齢者ふれあい学級
- 環境美化活動 など



入会のお申し込みは
各区の単位老人クラブへ

お問い合わせは
町老人クラブ連合会事務局
☎ 68-6725 まで

障害者福祉会会員募集

町内の身体障害者手帳をお持ちの方、町身体障害者福祉会に入会しませんか？

障害者福祉会は会員の福祉を目的に次のような活動をしています。

- 会員の健康増進を目的とした軽スポーツ
- 会員及び町内障害者のための視察研修会等

お問い合わせ及び入会申し込みは
町身体障害者福祉会事務局
☎ 68-6725 まで

お知らせ



風のたより

新型コロナウイルスによる自粛生活が一年を迎えています。
ふれあいや支えあいを中心とした地域福祉活動では、中止となる事業がほとんどでした。
一方、生活を続けられることが難しくなってきた方への対応が必要となるなど、活動が大きく変わった一年でした。

発行

笠籠突御宿町社会福祉協議会

☎ 六八―六七二五

発行責任者 井上宙丈

心配ごと相談所

町社会福祉協議会では心配ごと相談所を開設しています。

毎月2日、22日
(変更の場合有り)
9:00~12:00

お問い合わせは
☎ 68-6725 まで

寄贈

善意をありがとうございます

好きです おんじゅくくの皆様
金五千三百三十五円

福祉教育推進校の活動

福祉教育推進校と 推進団体の取り組み

平成三十年度より三年間、福祉教育推進校の指定を受けた、御宿中学校、御宿小学校、大多喜高校と福祉教育推進団体の指定を受けた、御宿地区社会福祉協議会、岩和田地区社会福祉協議会、布施地区社会福祉協議会が一体となって取り組んだ福祉教育の一部をご紹介します。

あいさつ運動

御宿小学校で行っていた「あいさつ運動」を、町全体での取り組みとするため、児童が地域の商店などにポスター掲示などのお願いに回り、地域の皆さんへお知らせをし、小中学生が地域の皆さんにあいさつをする活動を始めました。

これを受けて、ボランティア研修会などで、地域の皆さんを含めた「あいさつ運動」への取り組みや効果などを話し合うことができました。

お手紙運動

三年の間には、令和元年度の台風被害、新型コロナウイルスの影響で中止となる活動が多かった



ですが、各学校、地区社会福祉協議会が協力して活動を続けられたのが「お手紙活動」です。

各学校が季節ごとにはがきを作成し、取り組みについての説明を添付したものを、地区社会福祉協議会より、地域のひとり暮らし高齢者などに送付しました。受け取った高齢者からは、はがきや電話で感謝の言葉が寄せられました。

コロナ収束を願って

御宿中学校では校内をはじめ、御宿町が少しでも元気に明るくなればという願いから「アマビエ」の掲示物を作って、町内の無病息災・疫病退散を祈ろうというプロジェクトが始まり、全校生徒で作った「アマビエ」は現在、交流サロン「かぐや」に展示しています。

(表紙の写真)

